

目次

はじめに

1 労働組合は従業員集団ではない

- 労働組合に「お墨つき」はいらない……………三
- 法律は頼るものでなく活用するもの……………五
- 「労働者」と「従業員」を混同してはならない……………六
- 労働組合は「労働者」の組織である……………三
- 労働組合の主要な仕事とはなにか……………三

2 職場に労働組合をどうつくるか

- 労働組合は労働者が団結してたたかう組織……………三
- 労働者は「要求」のもので一つになる……………六
- 合理化の中の生活と権利をまもるたたかい……………三
- 職場にたたかう体制をつくること……………三

3 死んだ組織から生きた協約は生まれない

- 労働協約はむずかしいものという考え方……………三
- 賃金・労働条件・権利を切り離してはならない……………六
- 協約闘争の課題は行と行との間にある……………四
- 職場闘争こそ労働協約をつくる出発点……………四

4 要求の発見と生きた職場組織づくり

- 職場にはさまざまな要求が埋もれている……………七
- 要求の掘起しと生きた組織づくり……………九
- 職場組織の仕組み・運営と点検の活動……………五

職場でのたたかいを活発にするために……………五

5 職場活動と職場闘争のすすめ方

労働者が、みずからの力、を知ること……………七

労働者の、本性、を信頼する作風……………七

相手の弱い「環」に「眼」をつけよう……………六

職場活動・職場闘争を発展させるポイント……………三

6 集会を成功させるための方法

荒けずりな、組合運営、に分裂の原因……………七

上からの運動はあるが下からの運動がない……………六

集会にあつまらない原因を考えよう……………七

集会を成功させるための七つの留意点……………四

7 賃金要求づくりと職場討議のすすめ方

大衆討議は自己改造のたたかいでもある……………七

要求づくりの集団作業を通して労働者の自覚を……………七

「とれる要求」でなく「とるべき要求」を……………二

賃金討議の重点をどこにおくべきか……………六

要求づくりと機関の指導性・活動家の役割……………六

職場討議は生きた事実と数字をもとに……………九

8 幹部と組合員の結合強化と組合民主主義

年中行事化した春闘と幹部の請負闘争……………九

企業別組合の運営と組合民主主義……………九

不正常的な労働組合と政党の関係……………一〇

組合民主主義を強めるための七つの課題……………一〇

9 幹部・活動家の任務と役割はなにか

幹部・活動家を会議と報告要員ではなく組織者に……………一七

一般方針と結合した個別指導の具体的対策を……………	一〇九
組合指導の改善と八つの幹部政策……………	一一二
幹部・活動家の「任務」と「役割」……………	一一四

10 職制対策と職場交渉のすすめ方

「職制対策」はいかにあるべきか……………	一二七
職場でおきたことは職場で解決する体制を……………	一二三
職場交渉を成功させるための重要ポイント……………	一二四
苦情処理と職場委員の主要な任務……………	一二六

11 団体交渉を有利にすすめる方法

団体交渉は「集団的お願い」ではない……………	一二三
企業の枠内に閉じこめる資本の攻撃……………	一二五
正確な状況把握と系統的な準備を……………	一二七
隣りの会社・同じ産業の状態をつかむこと……………	一二九

12 ストライキの準備とたたかい方

なめられない組織体制 ^① をどうつくるか……………	一三四
ストライキは団結力の集中的な意思表示……………	一三七
ストライキ準備の第一の仕事・要求決定……………	一四〇
ストライキと団体交渉との結合……………	一四〇
ストライキとスローガンの重要な役割……………	一五一
ストライキを成功させる条件と対策……………	一五四
的確な状況把握と組織内外への教育宣伝……………	一五七
争議戦術は資本の打撃と効果を重点に……………	一五九

13 企業意識・思想攻撃に打ちかつ方法

「会社あつての組合」という考え方……………	一六三
組合幹部のなかにもある企業意識……………	一六四
企業意識を育てる資本の三つの装置……………	一六七

組合の運営や運動のやり方にも問題……………	一六九
営業報告書もたたかう立場から利用……………	一七三
企業意識・思想攻撃とたたかう八つの指針……………	一七五

14 分裂している組合のたたかい方

七〇年代の合理化・組織攻撃の特徴……………	一八一
古くて新しいアカ攻撃による前段工作……………	一八四
分裂した組合の八つの教訓……………	一八六
「要求を通じての統一」こそ基本方針……………	一八六
統一をたたかいたった組合の教訓……………	一九〇
「はだか統一」は御用組合への道……………	一九四
統一とはたたかいである……………	一九五

15 闘争の自己批判と総括のやり方

自己批判と総括は理論と実践の統一である……………	一九九
--------------------------	-----

なにを、どのように点検したらよいか……………	二〇一
労働者の意識と思想の変革を重点に……………	二〇五
組合民主主義は批判と総括を成功させる母……………	二〇八

16 青年労働者の要求と組織づくり

労働者構成の変化に目をつけよう……………	二二一
新しい労働問題に対応する組織づくり……………	二二四
運動のキイポイントをにぎる青年労働者……………	二二六
青年労働者問題の二つの考え方……………	二二九
青年労働者対策の六つの課題……………	二三三

17 合理化攻撃とたたかう組織づくり

合理化攻撃の根源は一つである……………	二三九
賃上げと生産性向上をワンセットに……………	二三三
人べらし合理化と従業員運動から階級的運動へ……………	二三五

マル生攻撃とマル生闘争が教えるもの…………… 二五三
職場からの組織点検闘争八つの課題…………… 二四二

18 春闘強化の方向と組織づくり

大幅賃上げ思想を定着させた春闘…………… 二五二
「マンネリ化した春闘」からの脱却…………… 二四九
「もたれあい」から「総がらみ」の春闘へ…………… 二五〇
最賃・社会保障など生活闘争の重要性…………… 二五四
反合理化のたたかいを強化しよう…………… 二五三
官公労働者の権利闘争から学ぶもの…………… 二五二
官僚主義を克服し全員参加の春闘へ…………… 二六三
春闘強化と組織づくりの六つの課題…………… 二六六